


平成31年

4月

さいたま市立大宮北小学校 学校だより

れい わ
令和

校長 久松 丈記



<北小の桜 / 4月1日撮影>

平成31年度が始まりました。4月1日(月)には新元号「令和」が発表され、5月1日(水)から、いよいよ「令和元年」の幕開けとなります。保護者・地域の皆様の皆様のご健勝をお喜び申し上げますとともに、本校教育の充実・進展のために多大なるご理解・ご支援をいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、大宮北小学校では、本日67名の新入生を迎え、児童数306名、教職員数45名の体制で新年度がスタートしました。本年度も、学校教育目標「未来を拓き、心豊かにたくましく 生きる力を育む」の達成を目指し、「笑顔にあふれる学校」「日本一、心のこもったあいさつができる学校」を合言葉に、子ども達の「よさを見つけ、よさを認め、よさを伸ばす」教育を推進してまいります。

その中で、学校像「子どもたちが嬉々として登校し、充実感に満ちて家路につく学校」、児童像「進んで学ぶ子、思いやりのある子、明るく元気な子」、教師像「子どもや保護者に優しく寄り添い、明るい笑顔を与える教師」を目指していきます。

また、重点項目として、「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」「豊かなかかわり合いの育成」「安全で潤いのある教育環境づくり」「家庭・地域との連携の推進」等に取り組んでまいります。

更に、大宮北中学校との小中一貫教育を推進すると同時に、本年度から3年間、さいたま市教育委員会の研究委嘱を受け、研究領域「社会に開かれた教育課程」、研究主題「よさを伸ばし、意欲をもっていきいきと取り組む子どもの育成 ～コミュニティ・スクールを見据えた、地域・家庭との連携・協働／カリキュラムマネジメントの研究～」の研究に取り組んでまいります。

創立91年目を迎え、元号が「令和」となる節目の年。本年度も、教職員全員で力を合わせ、子どもたち、そして保護者・地域の皆様から信頼される学校づくりに努めてまいりますので、引き続き変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

「令和の選定理由となった万葉集の抜粋と意味」

初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。

(人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。)